きわめて必要性が高い 防災行政無線

防災行政無線は災害時の情報伝達のほか、平常時には市役所からのお知らせや夕方の時報のメロディーなどを放送しています。=藤沢市

県内でないのは横浜だけ

防災行政無線は、大きな災害が起こった場合、市民や街に来ている人に対して迅速にその情報を伝える手段として、きわめて有効です。そのため防災行政無線は全国76.2%の自治体で設置され(同報系)、神奈川県で設置されていないのは横浜市だけです。

メール・ツイッターだけで大丈夫?

横浜市では、災害Eメール、エリアメール、ツイッターなどで市民に情報を伝えています。緊急速報メールを受け取れる携帯電話は約120万台、防災Eメール登録者は9万3000人、災害用ツイッターのフォロー数は約3万2000人。メールやツイッターをやらない人には伝わりません。

決算特別委員会で質問する古谷やすひこ議員。▶

お金がかかるからできないでは済まされない

日本共産党の古谷やすひこ市議は決算特別委員会で、いまの横浜市の伝達手段では限られた人にしか伝わらないと指摘。

「発災時に市民のみなさんやあるいは来街者の方々に対して、テレビが見れなくても、あるいは携帯電話を持っていなくても、登録をしていなくても、意識をしていなくても、強制的に知らせることができる防災行政無線はきわめて必要性が高い」と訴え、防災行政無線の設置を強く求めました。

9月議会で林文子市長は、日本共産党のあらき由美子市議の質問に対して、かなりの費用がかかるため現時点では同報系防災行政無線を整備する考えはないと答弁。

つまり、必要性はわからないでもないがお金がなくてつけられないということですが、市民の命を守ることを最優先にすべきではないでしょうか。

エッ?! 三ッ池公園がなくなるの?

公園存続を願う人たちが、7250筆の署名を県に提出

黒岩知事は10月「神奈川県緊急財政対策」を発表し、すべての県有施設や補助金について廃止も含めて見直すとしており、三ッ池公園も移譲対象です。日本共産党市議団は県の財政対策に反対するよう、9月議会で林市長に要望しました。

三ッ池公園を県立公園として残してほしいと願う人たちは、存続を求める署名をわずかな間に7250筆も集め、県に提出。

県は、「都市公園の廃止は考えていない」が、「市町村への移譲の可能性も検討したい」と回答してきました。

県はそんなに財政難?

黒岩知事はしきりに「財政危機」といいますが、県債発行時の投資家向けの説明では「神奈川は全国でも有数の健全財政」と主張しています。黒岩知事は、県民サービスを削って、大企業誘致策にまわす計画です。

区民力で現状のまま存続へ

公園は廃止されなくても、年間維持費が7600万円というこの公園を横浜市がおいそれと受け取れるとは限らず、入場料を取るということも考えられます。

日本共産党の古谷やすひこ市議は、三ッ池公園を守るために、全力でがんばります。

古谷(ふるや)やすひこ

日本共産党横浜市議会議員

●事務所:〒230-0037 横浜市鶴見区潮田町2-120-2
●電話:045-504-5121 ●FAX:045-504-7331

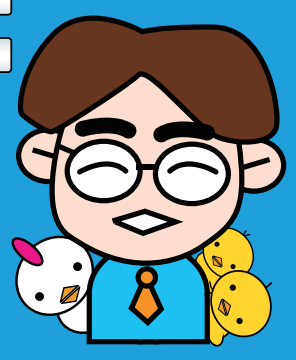
市政報告写真NEWS 2012年冬号

あなたの声をなんでもお寄せ下さい。

●鶴見の街づくり双方向サイト

言いタイ、聞きタイ、応えタイ

検索してください
つるみボイス 検索
ブログからでも
古谷やすひこ 検索

●電話でもお待ちしています
無料生活相談もお電話で
携帯電話:090-6528-9414

日本共産党
JAPNESE COMMUNIST PARTY